

Web システムで学修の状況や目標を記録しましょう

- 大阪樟蔭女子大学は、皆さんの学修の振り返りと学修目標の設定を補助するしくみとして「達成度自己評価システム」を取り入れています。

1. 達成度自己評価とは？

達成度自己評価は、将来の夢・目標と、今の学びの関係を整理し、自分の成長を確認するための取り組みです。



- ①受ける授業を選ぶ
 - ②授業を受ける。
 - ③授業で学んだことを自己評価しながら振り返る。
 - ④チャートで、自分のたまった力を見る。
 - ⑤将来の夢目標に対して、過去半年何をがんばってきて、次の半年何をがんばるのかを整理する。
 - ⑥先生と面談をし、振り返りと今後の学修計画を立てる。
- ！面談の日程・回数や実施方法は学科により違います。所属学科からの指示を受けてください。

2. 今回取り組む内容は？

今回は、下記の(1)から(3)に取り組んでください。

項目	取り組み内容	取り組み期間
(1)到達目標の自己評価	2019 年度春期に履修した「学士課程基幹教育科目」および「学科専攻科目」の到達度自己評価の入力	2019 年 7 月 16 日(火) ～8 月 20 日(火)
(2)学士力の自己評価 ※2015 年度以降入学生のみ	2019 年度春期の学びを総合的に振り返って学士力の自己評価の入力	2019 年 7 月 16 日(火) ～8 月 20 日(火)
(3)将来の夢・目標	2019 年春期の目標の振り返りと 2019 年度秋期の夢・目標の入力	2019 年 7 月 16 日(火) ～10 月 20 日(日)

※ 所属学科から入力の開始時期や終了時期が指定される場合は、指示どおりに入力してください。

(例えば... 春期の目標の振り返りと秋期の夢・目標設定について)

「10 月〇〇日に個人面談を予定しているので、9 月 30 日迄に入力しておくように」…例①

「9 月〇〇日の個人面談後に入力を開始して、10 月 10 日迄に入力を終わるように」…例②

等の指示がある場合があります。)

◇個人面談の予定・・・後日、所属学科から連絡があります。

(面談の日程・回数や実施方法は学科により違います。詳細については所属学科からの指示を受けてください。)

3. 操作方法について

(1) 達成度評価の場所



**達成度自己評価システムが新しくなり
スマートフォンでも利用しやすくなりました**

(2) 学んだことを自己評価する

① 「到達目標の自己評価」と「学士力の自己評価」を順番に入力します。

AsM 大阪樟蔭女子大学					student001 丹羽 美岐 ログアウト																																				
スタートページ	前回ログイン: 11分前(2017/07/03 13:14:17)																																								
個人情報	入力状況																																								
入力	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">2015年度</th> <th colspan="2">2016年度</th> <th colspan="2">2017年度</th> </tr> <tr> <th></th> <th>前期</th> <th>後期</th> <th>前期</th> <th>後期</th> <th>前期</th> <th>後期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>★ 到達目標の自己評価</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								2015年度		2016年度		2017年度			前期	後期	前期	後期	前期	後期	★ 到達目標の自己評価																			
	2015年度		2016年度		2017年度																																				
	前期	後期	前期	後期	前期	後期																																			
★ 到達目標の自己評価																																									
★ 到達目標の自己評価																																									
学士力の自己評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">1年生</th> <th colspan="2">2年生</th> <th colspan="2">3年生</th> </tr> <tr> <th></th> <th>7月</th> <th>2月</th> <th>7月</th> <th>2月</th> <th>7月</th> <th>2月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学士力の自己評価</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								1年生		2年生		3年生			7月	2月	7月	2月	7月	2月	学士力の自己評価																			
	1年生		2年生		3年生																																				
	7月	2月	7月	2月	7月	2月																																			
学士力の自己評価																																									
将来の夢・目標																																									
結果確認	修得単位・GPA																																								
カリキュラムマップ	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="4">修得単位数</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="3">GPA</th> </tr> <tr> <th>前期</th> <th>後期</th> <th>年間</th> <th>累計</th> <th>前期</th> <th>後期</th> <th>通算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2015</td> <td>18</td> <td>20</td> <td>38</td> <td>73</td> <td>2015</td> <td>1.78</td> <td>2.65</td> <td>2.45</td> </tr> <tr> <td>2016</td> <td>20</td> <td>15</td> <td>35</td> <td></td> <td>2016</td> <td>2.9</td> <td>2.41</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							年度	修得単位数				年度	GPA			前期	後期	年間	累計	前期	後期	通算	2015	18	20	38	73	2015	1.78	2.65	2.45	2016	20	15	35		2016	2.9	2.41	
年度	修得単位数				年度	GPA																																			
	前期	後期	年間	累計		前期	後期	通算																																	
2015	18	20	38	73	2015	1.78	2.65	2.45																																	
2016	20	15	35		2016	2.9	2.41																																		
外部試験	GPT (カリキュラムマップ)																																								

② 到達目標の自己評価

- 「到達目標の自己評価」メニューを選択すると、科目別にシラバスに記載されていた「到達目標」が表示されます。
- 「回答する」を押すと、科目別に自己評価を入力できます。(☆を選ぶことで自己評価を入力できます)

「回答する」を押すと自己評価を行えます。

自己評価したい年度のタブを選択します。

AsM 大阪樟蔭女子大学					student001 丹羽 美岐 ログアウト		
スタートページ	進捗						
個人情報	2015 前期 2015 後期 2016 前期 2016 後期 2017 前期 2017 後期						
入力	★ 到達目標の自己評価						
学士力の自己評価							
将来の夢・目標							
結果確認	教育心理学						
カリキュラムマップ	2017年度 後期 / -						
外部試験	到達目標						
	児童・生徒の発達や諸特性、学習過程などについて心理学的に理解できる。						☆☆☆☆☆
	教育心理学的知見を踏まえた各自の教育観を形成できる。						☆☆☆☆☆
	教育の現場に臨んだ際に教育心理学の知識・理論を活用することのできる基礎的な資質を身につける。						☆☆☆☆☆
	知覚心理学						
	2017年度 後期 / -						
	到達目標						
	知覚心理学の基礎的理論について理解できる。						☆☆☆☆☆

③ 学士力の自己評価

- 「学士力の自己評価」メニューを選択すると、学士力が表示されます。
- 「回答する」を押すと、学士力の各力に対して自己評価を入力できます。(☆を選ぶことで自己評価を入力できます)

■ 7月16日～8月20日



(3) チャートで自分の力を見る

① 自己評価のグラフ

- 「カリキュラムマップ」メニューを選択すると、カリキュラムマップが表示されます。
- 「自己評価のグラフ」タブを選択すると、チャートが表示されます。

② 成績の達成度(※)と、自己評価の達成度を、レーダーチャートで比較してみましょう。

② 目標とする力を、横棒グラフで確認してみましょう。

※「成績からみた力」は成績発表後に表示されます。



(4) 将来の自分を考える

○ 半期に一度、この半年で頑張ったことを振り返るとともに、将来の夢を確認し、次の半年で何をがんばるかを、整理しましょう。

■ 7月16日～10月20日

※「夢・目標」の記入開始・期限は、「個人面談」との関係で所属学科から指示があった場合は従ってください。

「回答する」を押すと自己評価を行えます。

「自己評価のグラフ」をに切替ます。

所属、年度を選択します。

「学士課程基幹教育」と「学科専攻」を切替ます。

「編集」を押すと将来の夢・目標を入力できます。

「回答する」を押すと、次の目標を入力できます。

■ 使い方で不明な点があれば、ラーニングサポートにお問合せください